京城日報
朝刊
朝夕刊共八頁
●本紙定價
一部金六錢
一箇月金一圓廿錢
郵税一箇月金十五錢
外國送り郵税共一箇月金四圓
廣告料
五號十五字詰一行金一圓五十錢
場所指定料（二割増）
發行所 京城府太平通一丁目三十二番地 京城日報社

社説　祝！五穀豐穰

今、明兩日にかけて全半島に五穀豐穰を祝福する新穀感謝祭の歡喜の繪卷が繰展げられる。時局下、世界中の殆どが戰火に曝されてゐる中に、かくも盛大なる豐年祭に逢ひ、我々は今更ながら皇國に生を享けた歡びに身のしまる感激を覺えるのである。皇天、皇土の恩、自ら頭の下る御稜威を感じ、この心こそ明日への偉大なる總力の蓄積でなくてはならない。即ち、茲において初めて本祭の意義に徹し得られるからである。

◇

第一回豫想收穫高は、二千四百廿萬石と發表され、内地米不作が傳へられてゐる折柄、全國民に非常なる力強さを感じさせてゐる。半島はいふ迄もなく帝國の食糧基地として聖戰下最重要の地位にあり、同時に東亞共榮圏における穀倉として重視されてゐる。半島全農民は、このことをよく認識自覺して、瀧大な困難を克服しつゝ職域奉公の誠をさらに勇を鼓して計畫半ばの米增産計畫を完遂しその責任を果すべきである。

◇

豐年祭はこの天恩、地惠の尊さを感得して半歳の勞を慰めさらに明日への勞力を蓄積、一層の發奮を將來に約束せんとするものである。――お百姓さん有難う――部會がこの言葉を行動に現はす方法は徹底した節米と農村への經濟と文化の協力あるのみだ。この上は部會も農村も農民達の勞苦を大が酬した大蔵に外ならない。今日の豐作は全くこの振った。

間接税の増徴

政府は間接税を中心とする臨時増税案を來る臨時議會に提案することに決定、「その要綱を發表した。今回の増税は『購買力吸收を目的とする増税』と銘打たれてゐる通り、國民生活上早急に實行を要すと認められる購買力の吸收、消費の抑制を圖ると共に、差當り増加すべき歳出財源の一部に充てんとするもので、間接税のみを狙ったところに特徴があることを注意せねばならぬ。増税案の内容は大藏近衛第三次内閣で企圖された案を踏襲したものであるが、増收額は内地分のみにても平年度六億三千萬圓、本年度約一億七千萬圓が見込まれ、間接税としては未曾有の大幅引上げである。而して政府は間接税の引上げと同時に煙草の値上げを斷行したが、この増收額のみでも平年度一億四千六百萬圓、本年度四千萬圓に達する見込みであり、且本年度において企圖されつゝある鐵道運賃、通信電話、郵便料金の引上げによる増收分の一般會計繰入れ、及び政府が言明してゐる如く、直接税の増徴案が來る通常議會に提案されるから、これらが實現すれば税收入は正に驚期的な巨額に達するであらう。即ち事變以來急激に膨脹せる

政府歳就を所謂公債主義によって賄って來た我が財政の基調はこゝに増税による方式を新たに得るとによって、健全化すると共にもなるわけで、その増税の第一着手をなす今回の間接税の増徴は財政政策からして大きな意義をもつものである。而してこの増税が主として間接税を對象としたものである爲、増徴される諸税品目は増徴税額に相當する價格の引上げが認められ、從ってこゝに多少の物價高を誘發することは不可避である。これは一應低物價政策と矛盾するのであってこの際特に政府の物價調整方策に愼重な考究が要請されねばならぬ。然し國民としては戰時生活であるといふことをこの際改めて反省し、税は生活費の一部であることを強く認識し如何なる増税の負擔にも耐へ得る心構へを養成する要がある。

帝國・敢て膝を屈せず
日米交渉・米の出方如何で左右
わが方“最悪の事態”への態勢完了

【東京電話】東條内閣は近衛第三次内閣總辭職の政治的根據をなしたいはゆる國策遂行の方途に關する意見の不一致につき再檢討を重ね速かに新方途を確立して帝國を圍繞する國際的危局を打開すべく組閣以來東條首相を中心として人的にも機構的にも政戰兩略の緊密なる一體化をはかる一方着々各般の諸戰備を整備しつゝあったがこの間にあって前内閣以來懸案中の日米交渉は新内閣成立後今日に至るも別に新たなる展開を示さず、從って兩國間に懸案の太平洋の癌の所在檢討についても未だ結論に達せざるものゝ如く太平洋を中心とする緊張は帝國のあらゆる努力にもかゝはらず漸次増大の一途を辿ってゐる。しかしてかゝる緊張の事態はアメリカを先頭とする敵性國家群の對日包圍陣形の强化によるものであり、殊に最近の國際情勢が獨ソ戰の激烈なる進展によってモスコー陷落はもはや時期の問題となったこと、大西洋における類々たるアメリカ艦艇の擊沈事件とこれによって漸次切迫しつゝある獨米衝突の危機などアメリカの戰爭突入への危險が刻々と切迫しつゝある最近の國際情勢は必然的にアメリカをして太平洋に戰火が波及してこれに自國が捲込まれることを極力回避せんとの方針をとらしむるに至り　わが國力に對する過小評價にもとづいて戰爭の冒險を回避し全面的な經濟壓迫の強行によって東亞共榮圏確保のわが國策を拋棄せしめアメリカの前に膝を屈せしめ得ると自負してゐる、しかしながら東亞共榮圏の確保は　わが東亞新秩序建設の一環をなしこれを拋棄することは、支那事變の意義を滅却し、帝國を滿洲事變以前の狀態に還元せしめる以外の何ものでもなくわが國の到底許容し得ないところであるのみならず、アメリカが經濟封鎖を强行すれば帝國としては自衛上よりするも外に必要物資の供給源を求めるの外なく敵性國家群の對日包圍陣形を突破し、最悪の事態に直面するも敢てこれを强行せざるを得ない、從って目下の事態は徒らに日米交渉のみに依存して局面打開を策すべき時期ではないので東條首相は組閣早々にもかゝはらず臨時議會召集を決定、議會を通して國民に帝國の直面せる危局を徹底せしめ未曾有の增税案に協贊を求めて臨戰體制を確立することはいづれも如上の國際情勢にもとづくものである、最近の外電の報ずる如くわが在ワシントンの外交代表者が『日米兩國が重大なる危險狀態を避くべきだとすればすくなくとも經濟戰を停止すべき措置を講ずる必要がある、現下の事態はなんらの變化もなしにこのまゝつゞけることは出來ぬ』と警告を發したに對し、卅一日のワシントンポスト紙は『アメリカ人は日本が太平洋におけるヒトラーの夢を拋棄するといふ事實を認めなければなんとも出來ない』と放言して厚顔にも帝國の東亞新秩序建設の國策拋棄を慫慂してゐる、かくの如き事態がこのまゝ進展すれば日米關係は最惡の狀態に立到るべきは必至であり、この局面打開策はアメリカの對日壓迫拋棄以外になくこゝにアメリカ側の出樣如何が今後の事態を左右するものと斷じ得るが帝國としては如何なる事態が現出するともすでに新たなる事態に處すべき新たなる方途を確立、變に應じ待つあるの態勢を完了してゐる

米顧問視察せば我威力に瞠目せん
河南作戰　現地軍參謀談

【〇〇一日同盟】鄭州撤退の皇軍精鋭部隊はその後愈々順調な轉進を續行しつゝあり、今や全く抗戰力を喪失した敵は聊かの反擊をも試み得ず、徒らに鄭州遠き山腹に潜伏してゐる有樣であるが現地某部隊は今次河南作戰における敵抗戰力につき一日左の如く語った

蔣係の第三集團軍は北支における商車中比較的强いと見られてゐたが一度皇軍の急襲をうけるや大黃河河防は空しく皇軍の渡河を許してしまった、さうして我に十倍する敵兵力を擁……

十六個師陝西河南に增援か　重慶敗戰對策

……る、しかして右會議は蔣介石以下の軍政首腦のほか白崇禧、陝西、綏遠、山東各省政府首席などが出席、黄河地區および山西方面よりの我が軍の强壓に對する軍事的處置、ことに日本軍が西安方面に出擊する……果新たに十六個師を河南省西部方面に……

蠢動の敗敵猛襲
鄭州附近より行動開始

外相西下取止め

定期敍位の御沙汰

【東京電話】良き選りでは寺島遞相、岸商相をはじめ三百四十名の文武官ならびに華族に對し、一日定期敍位の御沙汰あらせられた兩大臣の敍位は左の如くである
遞信大臣兼鐵道大臣正四位　寺島健
商工大臣從四位　岸信介
敍從三位（各通）

皇軍幹部練成の地
選ばれた埼玉縣朝霞町
陸軍豫科士官學校移轉

【東京電話】明治以來東京牛込の市ケ谷高台にあって幾多の將星を育んだ陸軍豫科士官學校は今回思ひ出の市ケ谷台を去って埼玉……新校舍に移轉を開始する……市ケ谷は……

國民の緊張を促す
增税、煙草値上
谷口大藏次官放送

谷口大藏次官

【東京電話】……日午後七時……卅一日閣議……にわたり……らびに一日……の値上げに……大要左の如く……政府は臨時議會……ることに決定……は消費税をは……行税その他の……税、法人税その……

北支開發總裁
津島壽一氏就任

津島壽一氏

赤都軍事施設
ウラルに移轉

米太平洋空路
濠洲まで延長

空爆保險法
商工省、來議會に提案

【東京電話】商工省では國際情勢の緊迫化にかんがみかねて空爆保險制度の實施につき具體案を練ってゐたが、この程成案を得たので出來れば來議會に空爆保險法（假稱）を提案すべく準備を進めてゐる、同案によれば戰時空爆の被害に對し政府元受の國家保險を行ひ實際的保險事務は政府の指定する民間損害保險會社に代行せしめんとするものである、同案の骨子は左の通り

一、保險主體ならびに保險事務取扱會社は前記の通り
一、保險加入資格は制限せず會社工場、一般市民を問はず、任意に國家との間に保險契約を締結せしめる、この際普通損害保險契約の有無は問はない
一、保險の對象は建物の設備、機械器具、家財什器その他商品原材料など廣汎にわたる物件を包含する
一、保險料率については目下研究中である
一、保險金の支拂については大體重要産業工場、運輸機關など戰爭遂行上重大使命を荷負ふものに對しては即時支拂、一般個人に對してはこの被害が生活維持を不可能ならしめる如き場合は……

生活最低限確保
戰時厚生政策、通常議會に提出

【東京電話】政府は今回の增税案は主として奢侈的消費および國民……

新内閣に寄す【外交】下
死中に活を得る決意
木下半治

新内閣の使命

近衛内閣の後を受けて立った吾が東條内閣の使命は、その組閣の第一日に決定されてゐるとみねばならない。陸相及び内相を兼攝する吾が東條首相は、外相の椅子は、外交畑の專門家たる東郷元大使に任せた。

東條内閣成立の經緯に鑑み新内閣の中心問題が日米關係の決定的解決にある事は、當然である。この大切なるとき外交の責任者の地位に、東條首相が自ら立たずして、外交專門家を起用したといふことは、吾々國民としては細技術的なる問題と考へてゐる。世人は例によって新内閣の外交政策など東條―東郷外交の名を以て呼んでゐるが、外交政策の根本は東條首相自らが決すべきである。

何となれば、日米交渉の現段階は、もはや外交といふ狹き路内にては處理し得ざるところまで來てゐるのであり、たゞ國際的に立って二三戰を叱咤する底の意氣込みのみがよくこれに當り得るのである。吾々國民は、日米危機打開の途は、たゞ我らに突撃あるのみと考へてゐる。といふのは、やみくもに戰爭をやれといふ意味ではない。死中に活を得る底の決意で突撃しなければ、打開不可能のところまで、今日の日米關係は來てゐるといふのである。吾々は、危機は突破すべきであって、回避すべきではない。回避は必ず危局に陷ることを意味するといふ確信を有してゐる。日米危機はよりその國外ではないのだ。近衛内閣總辭職の報到るや、直ちに米船の全部撤退命令を出したアメリカ政府の周章振りは、よくこの間の事情を説明してゐるのである。

英米の對樞軸戰略

東條現役大將内閣成立せりと聞くや、アメリカ政府は、又候……

和戰の限界點

興亞院連絡部官制改正要點

石炭統制會
十四日創立總會

“人の進出を望む”
結城日銀總裁の大阪觀談

乘員四十四名救助

米重慶間に基地建設を諒解說

海軍省異動

米艦擊沈事件
獨當局沈默

司法記念日
本省で記念式

長谷川臺灣總督東上

遞信辭令

―人―

お百姓さんよ有難う

長鼓も鳴らせ、さァ踊れ！　けふぞ愉しい豊年感謝祭

長鼓を鳴らせ、さァ踊れ―けふこそ半島の隅々までが天下御免の無禮講に打ち過す愉しい豊年感謝祭だ秋空を打ち抜いて高らかにあげる歓呼の聲は黄金の稲束にかざられる田園交響樂ともなつて今明るく全國の音頭をとる、一年の汗を誇つて、おいらが豊作のけふを思ひ切り讃へよう、京城ではこの日はなやかな山車行列に、本社主催の藝能祭に、花電車に―豊年氣分で塗りつぶし五穀豊穣に心から感謝を捧げ〃お百姓さんよ有難う〃とその勞苦を犒ひ、更に時艱にのぞむ心意氣を養ふ、午前七時廿分朝鮮神宮大前における奉告祭からはじめられるこの〃米の祭典〃は、全鮮各地でもそれぞれ地方色ゆたかな民藝を繰りひろげて、都會に、農村に、島に―撩亂の豊年踊りはつゞけられる

天に謝し地に謝す

かち得たり農村にこの歡呼

【水原にて渡邊特派員發】二千四百萬の歡喜を乘せて一日二日と全鮮に繰展げられる新穀感謝祭に踊を競ふため豊年踊りの豫行練習が一日午後早くも水原の野に古色繍厥の華を咲かせた―〃農は天下の大本なり〃の大農旗を高々と立て、廿人餘りの農夫たちがその下に五彩の原色に彩る盛裝を豐穣の靈風に翻しながらドラを打ち太鼓を鳴らして農神に憑かれたごとく踊り狂へば、古都な祭の音は豐穣にたわむ黄金の波を縫し流れ、野と山と家と街とを忽ちに豊年踊りの歡呼につゝみ

李朝正祖五百年の歴史を秘めて紅葉の中に鎮まる朱門を城壁の下に五穀豊穣、神明奉謝の歡呼はつゞくのだ、身輕な手足の運びが太鼓や鉦の律動に乘つて次第々々と速度を増せば手の振り足の運びには随所に〃亂れ〃がはいりだす

村に島に街に沸く歡び

【寫眞上】村の豊年踊り―水原にて松岡特派員撮影【中】島にも豐穣―江華島にて清水特派員撮影【下】本社の野外演藝場【右】宮傳拝―京城にて

斜陽に輝く〃双輪〃

神宮大會第二日目　總裁宮殿下台臨

御寫眞―孝宮・順宮さま『神宮競技場』へ御成り―電送

【東京にて大山特派員發】明治神宮體育大會第二日の國民奉公日は戸山學校の府縣對抗國防競技、神宮競技場の國防部、産業各府縣對抗、遞信對抗、國防自轉車競技、大山阿夫利神社、田山原間の行軍訓練等戦線と銃後を繋ぐこの新國防スポーツを繞つて選しい熱戦が演ぜられた、この日〃兵站基地半島〃の固き守りを代表して京城府東大門警防團金山龍田君が出場する、二キロ重量物運搬競技が將に開始されんとする時スタンドを埋め盡した二萬餘の觀衆が總起立して お迎へ申上げる裡に畏くも高松總裁宮殿下には同妃殿下御同伴にて御機嫌いとも御麗しく台臨遊ばされた

緊張の一瞬號砲は鋭き新國防スポーツはスタートを切つた、各地警防團代表が郷土の誇りを秘めて踏むペタルの動き、午後の斜陽に輝く双輪、みるみる中に朝鮮代表金山選手は他を抜き二三十米程第二位を引放して猛進する、二周目に入つて自轉車には五、六貫匁もある砂袋が素早く自轉車後部に積み上げられるやまたもヒラリと愛輪に飛び乘つた金山選手が疾驅する背後から北海道代表が肉薄する觀衆總立ちとなつて激勵の言葉が湧き立つ時畏くも高松總裁宮殿下には殊のほか御熱心に御覽遊ばされたるやに拜せられた、金山選手は力走又力走したが途に第五周目に北海道に榮冠を譲り第二位となつた、熱戦に疲れ切つた身體に流れる汗を拭ひながら金山選手は感激を語つた

私は半島警防團の名譽をこゝに示したいと上京以來餘り猛烈な練習をしすぎたので今日は二周目以後足が棒のやうになつて思ふやうには動きませんでしたが全力を盡した積りです、畏くも本日は殿下の台臨を忝うしその光榮は私一人のものでなく全く半島警防團全部のものです、歸城したらこの光榮の感激をみんなに語つて益々兵站基地の守りを固めたいと思ひます

九六八七〇番

豆債券の幸運者は誰？

【東京電話】第二回豆債券抽籤發表は一日午前日本勸業銀行で行はれたが、一等當選番號（割増金五百圓）は九六八七〇であつた

〃酬いられたり〃

今ぞ踊り狂ふ島の姿

【江華島にて白川特派員發】〃ドンドン…〃と强力性のある太鼓の音が美しく紅葉した島の山や森に山彦を呼んで長々と響きわたる、素朴な島の野兒ちやん連が神代ながらの農楽の裝飾で身を固め胡笛、長鼓、銅鑼、小銅鑼小鼓等を手に手に陣取り音頭取りの太鼓に巧みに合せて郷土色豐な〃ニルニルリヤ…〃のメロデーを奏で出した、この微笑ましい農村歡喜の譜こそは京畿道切つての穀倉として年產十六萬石の米を誇る江華島民の豐年感謝祭歡呼の姿だ、〃農は國の本〃と筆太に書いた一坪ほどもあらう農旗を先頭にながながと列をつくつて村から村へと踊りの行列は繰展げられる、街の人々も、農村の人人も樂の音に誘はれ後から後へと行列に加はる、やがて一緒に踊り歌ひ出した、杖にすがつて若者達の踊りを見入つてゐた白髪の老人さへいさなり〃チヨツタ〃と曲つた腰をピンとのばして踊り出した今日ばかりは天下御免の土に生きる人々の喜びの日だ、苦しい夏の勤勞が豐作となつて酬いられ、この喜びを得たわけだ、三度の飯よりも好きなマッカリ（濁酒）も今日ばかりは君からふんだんに飲めるのだ踊る人も樂手も見物する人もマッカリーで心地よくほてつた顔には豐穣を喜ぶ明るい表情がゆれる〃お上は有難いなあ、眞面目に働きさへすりや、こんなに樂しく遊ばしてくれるだんべ……〃と見物の人々が囁きあふ、島とは云へ總面積一萬四千町歩が殆ど沓で十三面に分れ、八萬六千名の人口を持つ江華島は食糧增産の國策に沿うて事變以來、島民が營勞に營起、增產の一路を邁進した稔豊しい樂天地である

沃溝郡の奉祝

【群山電話】沃溝郡ではけふ午前七時卅分群山神社大前で新穀感謝祭を執行し、皇祖の御恩澤を仰ぎ奉るとともに天地の恩に對し深き感謝を捧げ併せて過去の辛苦を顧みて將來に備へ益々農業生產報國の誠を誓ひ、同十一時から大野國民學校で新穀感謝祝典を擧行するなほ午後一時から同校庭で郡内各部落青年の對抗角力、同對抗農民リレー、同對抗初運搬競技、同郡面職員對抗リレー、同男女子挺進隊對抗リレー、郡警察國防對抗リレー、同對抗角力、有志パン喰競爭、婦人有志柿ムキ競爭、移動服裝競爭が催される外全鮮一の豐穣郡だけにこの二日間（三日まで）を新酒御免によつて祝ひ抜くといふ徹底した奉祝ぶりである

祝酒二千本

穀倉平北の喜び

【新義州電話】十萬府民をあげて穀倉半島の五穀豐穣の喜びを謝する二、三の兩日新義州では二日午前七時半から平安神社で新穀感謝祭を執行したのち道農會、府聯盟主催で正午から公會堂で官民三百名招待の祝宴を張りその喜びを分ち合ふほか街では子供神輿の市内巡幸、各戸國旗掲揚、店頭裝飾豐年踊り、武道大會等が行はれることゝなつたが、府聯盟ではとの天下御免の二日間を出來るだけ府民揃つてたのしませ、祝意を盛揚させるため關係各機關に斡旋者の協力を得て清酒二千本、高粱酒二百五十本、燒酎六百五十本（いづれも一升瓶）の大量の酒類を入手、一般家庭に配給することゝなり卅一日購入票を作製して府内各愛國班に配布した

奉祝第一夜に提灯行列

京城三中井

百萬府民をあげて祝福するに京城三中井では全從業員名が二日午後六時から盛んにかざしブラスバンドを先頭に踊り踊りの歌を合唱しながら前を出發、明治通から街に繰出して賑ひつゞく燈の行列で第一日の夜を飾ることになつた

自慢の豪華プロ

大田聯盟苦心の催し

【大田電話】五穀豐穣の喜びを祝ふ新穀祭はいよいよ一日午前七時十分、打ち揚げる煙火を合圖に道農會、國民總力道聯盟並に大田府聯盟の豪華プロを誇つて次々と展開される、まづ午前七時半松村知事以下、府内官民は大田神社大前に參列…

歡喜の祭典

街にも展く感謝の祭

この日京城では朝鮮、京畿、京城の三聯盟、朝鮮、京畿兩農會の主催により秋氣玲瓏、豐穣漲る南山の聖域朝鮮神宮で祭儀を執り行ふ歡喜の祭典に參列する諸人は南總督、板垣軍司令官をはじめ一千有餘、新穀を獻じ竹島神宮司祝詞を奏し、祭儀を閉ぢ拜殿前庭で直會を開く、街には農村への感謝を盛る祭祝塔が秋光を浴び、獎忠壇と三越裏で開かれる本社主催の藝能祭は準備なつて午後一時の開演を待つばかりだ

〃國土防衛〃の固き誓ひ

きのふ學校總力隊結成式

〃職域の秋だ、我等學生も一致團結起ち上らう〃と眉宇に漲る決意も固く京畿道内男女中等學校五十六校の學校總力隊結成式は一日の愛國日を期して午後二時から朝鮮神宮奉贊殿廣場で擧行された、カーキ色、黒色、セーラー服と色とりどりの各校生徒代表三千名は校旗を先頭に嚴肅しい總力隊長に引率され步武堂々と參集する、定刻北丘の振揚台に國旗が揚げられ京中生のブラス・バンドの伴奏で君が代が合唱されると三千の學徒の息吹きを受けた國旗は…

街の演藝家

三越裏會場の特設舞台

イットマン駐滿芬蘭公使

きのふ來城

駐滿初代芬蘭公使として滿洲國皇帝陛下に信任狀捧呈のため渡滿途にある駐日芬蘭公使クスパー・イットマン氏は武官輔佐官ラウー・イルッカ・ライネ大尉を帶同し一日午後〃あかつき〃で入城、直ちに朝鮮ホテルに入つたが…

本社の朝夕刊

立賣りを開始

本社では新聞報道の積極化をはかるため一日から朝、夕刊の立賣を開始した、場所は京城本町入口、鐘路…二ケ所で朝刊一部…

低調な國債戰

第七日目

臨戰報國團の常務理事決定

厚化粧の花電車

お待ち兼ねの花電車が、明るい五彩の灯りを振り撒いて豐年祭にとよめく京城の街にいよいよお目見得します……明日からの祝ひを控へて京電車庫で徹夜兼行の作業をつゞけてゐた花電車は、一日その粧ひを凝らしてあでやかな姿を軌道にのせました、二千[illegible]の費用をかけて京電が府民に贈る電飾の花束だけに趣向をかけて素晴らしく、六尺[illegible]の大[illegible]が金色まばゆく輝いて神ながらの豐穣を謳ひ、また一台は半島の農村にのこる豐作踊りを絵巻な人形で車上に生かし〝百花繚亂〟と名づけた電飾づくめの一台は數千燭光の光芒を放ちさながら不夜城を現出〝今夜は徹夜をしてでも立派なものを完成して御覧に入れます〟と上原電車課長の言葉も大したはりきりやうで、豐年祭は花電車に乗せて——といつた心意氣もうれしい、二日の始發から三日の終電まで全線をくまなく巡回、府民とともにこの日をことほぐ【寫眞＝厚化粧の花電車】

〝冬〟〝征服の出席率

頼もしけふ愛國日常會

ひしくと迫る寒氣に勞苦一段と加重する前線の將兵を偲び開かれた愛國日常會はどうか、と總動員で視察した京城府總力課では次の如く常會成績を語つた

成績まづ優秀と云へる、出席率も九割以上であり開始時刻も整列もよく、ことに申合、周知事項のごときは當局の趣旨を徹底しし徹底であつた、殘念なのは廢品の回收が二、三割程度であつたことだ、しかしこれは回を重ねるうちには良くなると考へてゐる、いままでの常會は夏のことであり早起きは氣持ちがよい位ゐであつたが今からは寒くなるのに出席率は向上しつゝあるのは實に結構なことである、前線の將兵を想へば京城位ゐの寒さは克服しなければならず益々優秀な成績を舉げるやう期待してゐる

貝沼梅子さんの世話で朝鮮軍司令部を訪れ陣營具の對仕事を行つた日頃は傾とびんと電流でおしやれの世話をする指先もこの日は鋏と物差を持ち白布に埋れて固い板の間に坐りながら

私達の仕事が直接兵隊さん達に喜んで頂へるのがなにより嬉しうございますわ

と五分間の休憩も惜み、一對每に

廢品の山・山

川岸總長も交る常會

夜來の雨に濡れて[illegible]肌にしみ渡り南山の頂きからやはらかい晩秋の太陽がおほらかな微笑を投げかけるころけふ愛國日の早朝南大門通三、四丁目と南米倉町兩聯盟の班員が愛國旗を先頭に朝鮮神宮參道入口横の廣場に續々と押し寄せてくる、兩町聯盟の常會である一人々々が空瓶や古新聞紙など提げてゐる、午前七時半約八百人の班員が集つたところ愛國班の總父川岸朝聯總長が西山宣傳課長を伴ひ溫顏に笑をたゝへ〝お早う〟の聲も朗らかに姿をみせる、都筑總代が聲をはり上げて最敬禮の注意をなし常會は開かれた、國旗に敬禮し宮城遙拜に入つたトタンにサイレンが大きく唸り默禱を終る〝日露戰爭が始つたとき……〟と宮本法務局長の大きな聲が擴聲器から飛び出してきた

全員は一語も聽きのがさじと緊張した顏に耳をすましてゐる、班員とゝもに整列してゐる川岸總長もぢつと聽いてゐる

〝皆さんの愛國班から皆さんの街からいや全半島から國家に對する叛逆行爲であり賣國行爲である闇取引を追拂はうではありませんか〟

烈々火を吐く[illegible]つた、班員の心を心としてぢつと聽いてゐた川岸總長は はじかれたやうに次ぎの常會觀察へ飛び出して行つた一隅に集められた廢品は小山のやうに積つてゐる、都筑總代は節米勵行、今月の希望と次ぎ次ぎに述べてゆき皇國臣民の誓詞斉誦天皇陛下萬歳を奉誦して常會を閉ぢた

皆勞二題

法服を脱ぐ

判官連が南山で聖汗

司法記念日もゆかしく鶴嘴を揃ひシヤベルを握つて敢然法から勤勞に起ち上つた判官部隊——十一月一日の愛國日、日頃はいかめしい法服に包まれた判官連が原高等法院長、増永檢事長を始め高等法院檢事局のお歴々からタイピスト嬢給仕さんに至る總勢百卅名が卷脚絆に地下足袋の一日土工さんに早變りして夜來の雨に濡められた南山の聖域、京城神社に隧道を提げて[illegible]い汗の勤勞奉仕を行つた

今日はその先發隊だ、午前九時神社前に集合、英靈永へに鎭まる聖地に一同皇國臣民の誓詞を高らかに朗誦、敬虔な默禱を捧げて愈よ一隊は二班に分れて作業に移つた、かくして午後四時まで終日を南山の聖域に勤勞奉仕を捧げたが、さらに二日三日の兩日も休日そこのけで職員が交代、勤勞奉仕する筈である

赤誠の一針

淑髮業者が軍で奉仕

アイロンをお針に持ちかへた勤勞運動……京城淑髮協會では愛國日の一日午前九時會員百廿餘名が會長渡邊チヨさんの指揮引率、顧問

【寫眞＝淑髮業者の〝お針の奉仕〟と判官連の聖汗】

十五瓩四圓四十五錢

けふからお米値上

一日からお米の値段が改正された、出先渡し十五瓩當り五錢増、家庭に配達する場合は運搬賃五錢以内徴收されるから事實上十錢の値上りとなつた、豐年を謳はれてゐる朝鮮のお米は從來十五瓩四圓四十錢であつたが今回四圓四十五錢と改正されたから

家庭 持込料を加算すると十五瓩四圓 五十錢になるわけだ値上りの由來をたづねてみると朝鮮米は今まで七十八種の銘柄[illegible]の向上を図つて來たが

最近では〝米の朝鮮〟の通名があるほど質は押しも押されもせぬものとなつて來たが當局は質より量を求めて止まないので

當局 では今後增産に邁進することゝなり銘柄を九種に等級を五等並びに外等とあつたものを三等に區分した

結果として南鮮方面は銀坊主を北鮮方面は陸羽一三二號の優良種を基準としてその他を三種乃至五種を混同して一本建として九種に改められたわけ、これによると質からいへば優良種と雜種とが混淆されてゐるから五錢の

値上 りはおいしいお米が食べられるといふ觀點から考へれば實質上消費者の利益だともいへる

また從來は一斗を十四・四瓩と計算してゐたが改正値を契機に十五瓩に統一したから量からいつても五錢の値上は無理がないともいへる、こんな譯で小賣値も店先渡し、賣取人庭先渡の二種にし持込料五錢以内を加算してもいゝことにした、だから今後はハッキリ十五瓩を計つて買へば消費者としては十錢の値上りは殆んど響かないことにならう

煙草・寢込みを襲ふ

値上げに愛煙家喫驚

豐年踊りに浮かれ出したわけでもあるまいがアッといふ間に、夜明ければ煙草の値上り、強く戰の晩秋にボカく吹く紫煙の輪にもいよいよ時局の波が濃厚——このところ愛煙家にとつてはいさゝかいたしかゆしの微妙な顏——さて煙草は値上げしたものゝ指定價格記の製品ストックが相當あるので朝鮮總督府專賣局では當分の間は舊定價記の製品をそのまゝ改正定價で販賣することになり、一日關係方面に通知した、なほ指定價改正により本年度は約六百萬圓の增收の見込みであり値上率は平均一割八分となつてゐる

鮮鐵の皆勞

[illegible]勞運動に呼應して鮮鐵本部では四日から十日まで每日鐵道局長以下一千五百名の局員が西氷庫線[illegible]漢江河畔に出動砂利採集の勞働奉仕を行ひ首相とも徒歩で[illegible]することゝなつた

神戸の猛火

【神戸電話】一日午後五十分頃神戸市[illegible]區[illegible]一丁目[illegible]から出火同家附近住宅二十戸、倉庫十棟および海[illegible]の消水[illegible]所倉[illegible]合資會社[illegible]工場を全燒して[illegible]同四時鎭火した損害約五十萬圓

けふ『運命の日』

〝推薦制〟初の府議選擧

京城府議員補選候補者三十名の運命を決する日は遂に來た……前夜來の秋雨もカラリと晴れ一日は絕好の選擧日和だ、この朝選擧會場たる公會堂には鮮銀前南永東警察署長以下係官、伊藤選擧長、立會人古城龜之助、佐野彥三、大永憲[illegible]の三氏が投票箱を前にして中に儼然と居並ぶ

午前九時先づ二級をトツプに

投票 を開始したが、投票の一番乘りは內地人側府内本町四ノ六九番地文具商松尾保太郎氏、半島人側では府内明倫町四〇七番地米穀食料品商金田光重氏であつた

今回の選擧は推薦制實施によるはじめての新體制選擧であるが、當選者を豫め定められることによつて從來の選擧のやうに熾烈な〝清き一票〟の獲得風景はなく選擧關係者方面では棄權者の續出を氣づかつてゐたがそれを見事に裏切り朝來有權者の出足は意外によく午前九時から同十時半までの投票者は既に二百五十名を數へ、正午現在遂に六百名を突破しさらに午後二時の二級投票締切までには一千六十二名の投票があつた、なほ二級有權者總數は二千三百廿二名である【寫眞＝投票場】

祝へ而して起て

南總督が豐年祭の檄

〝農ハ天下の大本ナリ〟……さあ祝はう、瑞穂の秋を—あすから全鮮二千四百萬同胞があげて新穀に感謝し天地神祇をお祭して五穀豐穣を稱へる日が來た、豐穣を欲ましうし、二日間は天下晴れてお祭氣分を味はつてよいのだ、この嬉しい感謝祭を迎へるに際し南總督は一日午後次のやうな談話を發表して〝祝つて而して起つ〟の半島銃後の覺悟を强調した【寫眞＝南總督】

本年我が朝鮮は北鮮の一部を除き米作において平年以上に恵まれ、食糧國策の上に全鮮を寄與するに至つた結實までの天候は必ずしもあつたとはいへなかつたこの成績を見るを得たのは關係官公廳と農民との增産報國の赤誠[illegible]總力運動を通じて遺憾なく發揮されたからであると信ずるのである

一昨年の大旱害は

全國 の食糧事情を一變、苦を與へ農民と消費者も異常の忍苦を體驗し來つた、その經過に顧み感慨勘からざるものがある

聖上におかせられては秋の新穀を以て新嘗、神嘗の兩御儀を親祭し給ひ、國民また鎭守の神に喜びの祭事を行ふことは農本を以て立つ我が國の尊き傳統をなす國風である

明治大帝の御製にも

豐年の新嘗まつりことなくて仕ふるけふぞうれしかりける

ゆたかなる年の初穂をさゝげつゝ援も縣の神まつるらむ

と豐穣の秋を民と共に讃へ喜び給へるものを數多く拜するのであつて、農に發する我が國體の崇美に對して今さら心を打たるる次第である

十一月二、三の兩日朝鮮に新穀感謝祭を行ふこととなつたのは、たゞ物がとれて一と安心をしたから浮かれ騷ぐといふやうな浮薄な意味では斷じてなく、この美しい國體から來る國民自然の敬虔なる

感情 として天神地祇に豐作の御恵みを感謝し、且この喜びから生ずる新しい力で斷乎として今後の難局を乘切るの覺悟を新たにせうといふのである、故に都會の人も農村の人もこの心構を失はず大いに愉快に明朗にこの祭の稍神を發揮して頂きたく[illegible]

颯速

三米の微風を背中に二人抜きまた一人抜きつひにトツプを切つて三米も引き離して疾驅すれば、參觀の白衣も總起ちになる〝萬歲朝鮮〟〝第二の人見絹枝〟激勵の喊聲はあがる、その一瞬ついにテープは切られた——一着朝鮮梨化高女 鄭任順さん〝タイム十二秒〟と場内アナウンスが報ぜられると、記者席からは〝優勝は疑ないぞ〟と頼母しい期待の聲が注がれる、第一日に十二秒の記錄を殘したのは僅か二人、鄭嬢と山梨縣の吉野トヨ子嬢の二人きりだ

第二の人見孃

鄭孃、十二秒

【東京にて大山特派員發】 溌剌の意氣と力をこの一戰にかける明治神宮國體大會第一日に拾ふ朝鮮軍の健鬪點描

晴れ渡つた秋空に恵まれる小春日和の午後二時神宮競技場トラックに展開かれたスタートライン に半島短距離界の明星鄭任順孃がスラリと脊の高い姿を見せた、女子百米豫選三組がスタートラインにつくや三萬觀衆の顏は鄭孃に注がれた、鄭選手こそ昨年の神宮大會百米決勝に第一位を占めた記錄の持主である、この度こそ日頃鍛錬の體力をもつて全日本のホープを目指す秋だ、突如〝ズドン〟と號砲の合圖とともに京城の小麥色の鐵脚はピストンの如きピッチをあげ、兩頰は緊張に紅潮してゐる

一日朝の氣象概況

優勢な颱風は硫黃島の南海上にあつて北東に進行する模樣である、低氣壓は日本海中部と西比利亞にあり高氣壓は北支那から南支那及び滿鮮に擴がつてゐる、昨夜半島西部に微雨があつたが今朝は一般に天氣は良い、滿州北支那は晴れ西日本も晴れだが、關東以北は曇つて所により降雨がある、鮮内の氣溫は例年に比し北東部は三度内外高いがその他は一度乃至四度低い

京城地方【今晩】晴れ【明日】晴れ一時曇り

仁川地方【今晩】晴れ【明日】晴れ一時曇り

文化

明治節に惟ふ【2】

渡邊幾治郎

田中智哉州氏畫

明治維新の精神が、政治方面に於て弘張されて遂に現代日本の政治組織及び精神の根本となったことは既に述べたが、同じことが外交、祭祀、教育の方面においてもいはるゝのである。

維新の外交が開國進取にあり、明治天皇は『近來宇内大に開け、各國四方に相雄飛するの時に當り、獨り我邦のみ世界の形勢にうとく舊習を固守し、一新の効をはからず、朕、徒らに九重の中に安居し一日の安きを偸み、百年の憂を忘るゝときは、遂に各國の凌侮を受け、上は列聖を辱しめ奉り、下は億兆を苦しめんことを恐る』と仰せられ、『列祖の御偉業を繼述し、一身の艱難辛苦を問はず、親ら四方を經營し、汝億兆を安撫し、遂には萬里の波濤を拓開し、國威を四方に宣布し、天下を富嶽の安きに置かんことを欲す』と高く開國進取の政策を掲げたので、維新の我外交方針は極めて活氣を呈したのである。かの在朝在野の志士が唱道した滿韓經營等の大陸發展論、その運動は、かかる機運の中に起ったのである。

維新の中心人物、木戸孝允は、明治元年正月、先づ朝鮮に使節を差遣すべしといってゐた。彼は二年正月、軍務官副知事大村益次郎にこのことを謀り、

『他日皇國をして興起せしめ、萬世に維持仕候、與外に別策は有之間敷……韓地の事は皇國之御國體相立候處を以て、今日宇内之條理を推候譯に而、東海に光輝を生じ候は、ここに始り候事と愚考仕候』

といってゐた。

彼の論は、即ち今日の東亞新秩序の建設といふの頭であった。されぱこそ皇國の國體により、東海に光輝を生ずるの擧だといってゐたのである。木戸はその後遣韓使節の命まで拜したが、遂に使命を果すに至らなかった、その後歐米文明を輸入して國政を整理するに急なるの餘り、外國と事を構ふるを恐れ、外交は退嬰姑息を事として、朝鮮は事實において次第に支那の屬國化するも顧ふことを知らなかった。かくて維新の開國進取萬里の波濤を拓開する外交の規模は全く失はれたのである。

明治大皇は頗るこれを遺憾としたまうたが、徒らに事を外國と構ふることを避け、隱忍自重、先づ不平等の條約を改正して歐米諸國と對等自主の地位を占めんとした。これは極めて難事業で、岩倉具視、寺島宗則、井上馨、大隈重信と悉く失敗したが、明治二十七年に至って、外相陸奥宗光が漸く改正の緒を開いた。同時に國内の軍備も頗る整備し、國力も頗る充實したので、遂に東洋の平和を高唱し、朝鮮の獨立を扶持して支那の横暴を懲さんとて日清戰役を敢行したまうた。

日清戰役は三國干渉によって戰役の結果を空しうせんとしたが、明治三十七年再び義によって露國を征討し、遂に朝鮮の宗主權を收め、東洋の平和を確立した。次いで明治四十三年八月、これを帝國に併合するに至った。これ等は明治大皇の維新外交の規模を擴張したまうたものである。かくて帝國の安全は將來に確保されたばかりでなく、韓國一千萬の人民の安寧と福利とは大に増進されたのである。

明治天皇は平和主義の御方で、妄りに兵を海外に起して國民を兵禍に苦しむるといふごときは、頗る厭はせたまうたが、戰爭の外に取るべきの方法なしと信じたまふや、斷乎として惑ひ給はず、出征將士と艱苦を分って宣戰の目的を貫徹するにつとめたまうた。日清、日露兩戰役の勝利はこの叡旨に感激した國民の一死奉公の結果であったのである。古語に戰ひを忘るゝものは國を亡す、戰ひを好むものも亦國を亡すといふ旨を最も能く體したまうたのは、我が明治天皇であらせられたのである。

明治節には菊花を……洋室、和室向きの挿し方

明治節のよき日には菊花を挿して、明治大帝の御威徳をたゝへ奉りませう、菊にはずゐぶん種類も多く、立派なものがありますが、なるべくは我國柄のほこりを示す純日本趣味の菊のはうが、奉祝にふさはしいとおもひます

その挿し方は、……へ中菊の大輪なもの……流線として中菊又は……斜したものを添へ……て小菊を添へれば……ふさはしいでせう。

また、深籠など……中菊又は一文字菊……のを半開斜にさせ……となります

菊の水揚は、根……鉛鍛へジュッと……しこみ、生けて……を入れます

新野菜甘藷の葉【上】

「戰時下絶好の食糧」ビタミンも豐富に含む

◇……戰時下代用食糧の王座として甘藷の葉が登場しました。從來甘藷の葉は質が惡くアクが多いため、家畜の飼料や肥料にはされても、人間の食用には殆ど供せられなかったものですが、最近東京農大學教授住江金之氏の研究によりその榮養價の著るしく高いことと、アク拔法が發見され、時局下絶好の食品として折紙をつけられました

◇……住吉教授が分析した結果によれば、甘藷の乾葉百匁のカロリーは白米約二合（一合八勺）その蛋白質は並牛肉百四十匁に當ってゐます。そしてビタミンはA、Bが最も豐富でBもかなりあります。これを今少し具體的に述べますと次の通りまでです。

	生葉	アクを抜き風で乾したもの
水分	八四、三六七%	六、三〇%
灰分	一、〇三一	六、一三三
粗蛋白	五、一三三	三六、七五〇
粗脂肪	〇、八〇三	四、〇二四
粗繊維	三、六八四	一八、六六二
澱粉	二、七七七	一三、六六三
糊精及び糖分	〇、三九	〇、七四

脂肪は多く攝れません 出來るだけ

京日歌壇

朝鮮風物・生活・事變雜詠

吉井勇選

平壤　小松文一郎

岩陰小さく凸づく城壁のこの丘だまりは目白鳴きゐぬ

秋燕とび交ふ丘に作業衣の兵集りて馬馴らし居り

靄干せる韓國に佇ちて秋日濃く墓參の人逢ひつづき

高原　金山昌玉

今年もまた栗のいがはぜ西風吹き傑の如く九月過ぎゆく

十月は林の中が明るくなり遇れる土も陽光せり

京城　兒坂みや子

闇の中しんしんとして流れゆくものを感じて獨り坐りぬ

一筋のロープにすがり岩山に登る人あり金剛の秋

雲海の彼方に見ゆる岩影は海金剛かはるか小さく

霧れども又霧れども頂はそびえて立てりはるか彼方に

徳川　森　八重

母上と言ひしばかりに言葉なく逢ひしうれしさに戰く君子は

うれしさに涙浮べて見上げたる吾子が瞳のいとほしきかも

ギブスはめし腕支へて起ちなほり禮したまひぬ白衣のひとは

原　生

林學を半ば修めて召されたる戰友は今教壇に立つ

風船国果物国などならびゐぬ母校の運動會に來れば

素晴しい迫力 生々しい記録

『起ち上る泰』を見よ

特別試寫會あり 寫眞(府民館)

家庭メモ

絹ぼろの使ひ方

ごくごく使へなくなったまるものは二分巾に長く切り（切れる丈に切り、はなさずに布を切り易く適當にたゝみ、裁目三三分を殘して二分巾に鋏を入れ、續けて御幣束のやうに交互に切りはなすと長くなるでせう）これをしごいて落ち目を落着け、ぐるぐる巻いておきます。

これを毛糸鈎針で短編で編みますと、買物袋、鍋帽袋、足袋、カバー、火鉢の下敷等々色々なものが作れます。

不連續線

後姿

松竹大船の映畫清水宏氏に聞いたが、ひとかどの腕の出來た女でも、後姿をみられる時には、どぎまぎしてゐるさうである。

つまり、自分の姿といふものは自信があっても、誰も自分の後姿は見たことがないだけに充分の自信が持てない上に、んなところを暴露されてゐるかわからないからである。

その點になると、京城の女は實に勇敢である。少しも恐れるところがない。

人工榮養兒に

不感症の初步

今晩のラヂオ

今週番組

東寶中央劇場

京城映畫劇場

三國志【646】

吉川英治作　矢野橋村畫

赤壁の卷

舌戰(四)